

長野労働局発表  
(06-24)  
令和6年8月30日

担 当	職業安定部職業安定課
	課長 松本 賢一郎
	課長補佐 岡部 瑞穂
	労働市場情報官 小林 宏安 電話 026-226-0865

## 最近の雇用情勢 (令和6年7月分)

長野労働局(局長 <sup>みうら えいいちろう</sup> 三浦 栄一郎)は、令和6年7月分の県内の雇用情勢をとりまとめました。

- 令和6年7月の有効求人倍率(季節調整値)は 1.31倍で、前月同水準となった。
  - 有効求人数(季節調整値)は43,176人で前月に比べ1.6%減少し、有効求職者数(同)は32,876人で前月に比べ1.6%減少した。
  - 新規求人倍率(季節調整値)は2.16倍となり、前月を0.04ポイント上回った。
- 
- 7月の新規求人数(実数値)は15,572人となり、前年同月比で4.2%減少した。
  - 産業別(大分類)にみると、前年同月比で増加した業種は、D建設業、G情報通信業、K不動産業、物品賃貸業、N生活関連サービス業、娯楽業、P医療、福祉であり、その他の業種では前年同月比で減少した。
  - 7月の新規求職者数(実数値)は6,295人となり、前年同月比で4.9%増加した。新規常用求職者(3,848人)のうち、「事業主都合離職者」は395人となり、前年同月比で0.5%減少し、「自己都合離職者」は1,539人となり、前年同月比で4.1%増加し、「在職者」は1,580人となり、前年同月比で1.3%減少した。
  - 7月の就職件数は2,135件となり、前年同月比で0.8%増加した。このうち常用就職件数は1,089件となり、前年同月比で5.1%増加した。パートタイム就職件数は996件となり、前年同月比で2.8%減少した。

雇用情勢は、堅調に推移している。  
ただし、物価上昇等が雇用に与える影響を注視する必要がある。

## ～ 用語の解説 ～

- 〔一般〕 一般とは常用及び臨時・季節を合わせたものをいう。
- 〔常用〕 常用とは、雇用契約において雇用期間の定めがない、または4か月以上の雇用期間が定められているもの(季節労働を除く)をいう。
- 〔パート〕 一週間の所定労働時間が同一の事業所に雇用されている、通常の労働者の一週間の所定労働時間に比べて短い就業形態をいう。
- 〔臨時・季節〕 臨時とは、雇用契約において1か月以上4か月未満の雇用契約期間が定められている仕事をいう。  
季節とは、季節的な労働需要に対し、または季節的な余暇を利用して一定の期間(4か月未満、4か月以上の別を問わない)を定めて就労する仕事をいう。
- 〔求職者数〕 新規求職申込件数とは、公共職業安定所でその月のうちに新たに受けた求職申込件数をいう。  
月間有効求職者数とは「前月から繰越された有効求職者数」と当月の「新規求職申込件数」の合計数である。
- 〔求人数〕 新規求人数とは、その月のうちに新たに受けた求人数(採用予定人員)をいう。  
月間有効求人数とは「前月から繰越された有効求人数」と当月の「新規求人数」の合計数である。
- 〔就職件数〕 自安定所の有効求職者に対して、全国のハローワークで受理した求人を自安定所の紹介により就職が確認された件数。したがって、自己就職・縁故就職等は除かれる。
- 〔求人倍率〕 求職者の1人あたり、求人数がどれだけあるか、その割合をみるものである。  
算出の方法は、次のとおりである。
- $$\text{新規求人倍率} = \frac{\text{新規求人数}}{\text{新規求職者数}} \qquad \text{有効求人倍率} = \frac{\text{月間有効求人数}}{\text{月間有効求職者数}}$$
- 〔正社員〕 パートタイムを除く常用のうち、勤め先で正社員・正職員などと呼称される正規労働者をいう。
- 〔季節調整値〕 月別の時系列には、天候や社会習慣等の影響により毎年季節的に繰り返される一年周期の変動(季節変動)が含まれていることがあり、そのような系列をみるだけでは変動要因が判断できない場合もある。このような季節変動を有する系列の分析を行う際には、季節変動を除去してから、数値の比較を行う必要がある。  
この季節変動の除去を「季節調整」と言い、これにより、季節調整値(季節調整された数値)は、前月との比較の際に使用し、実数値(季節調整していない数値)は、前年同月との比較の際に使用する。

※ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴い、令和3年9月以降の数値には、ハローワークに来所せず、オンライン上で求職登録した求職者数や、求職者がハローワークインターネットサービスの求人に直接応募、就職が確認された件数が含まれる。

# 最近の雇用情勢

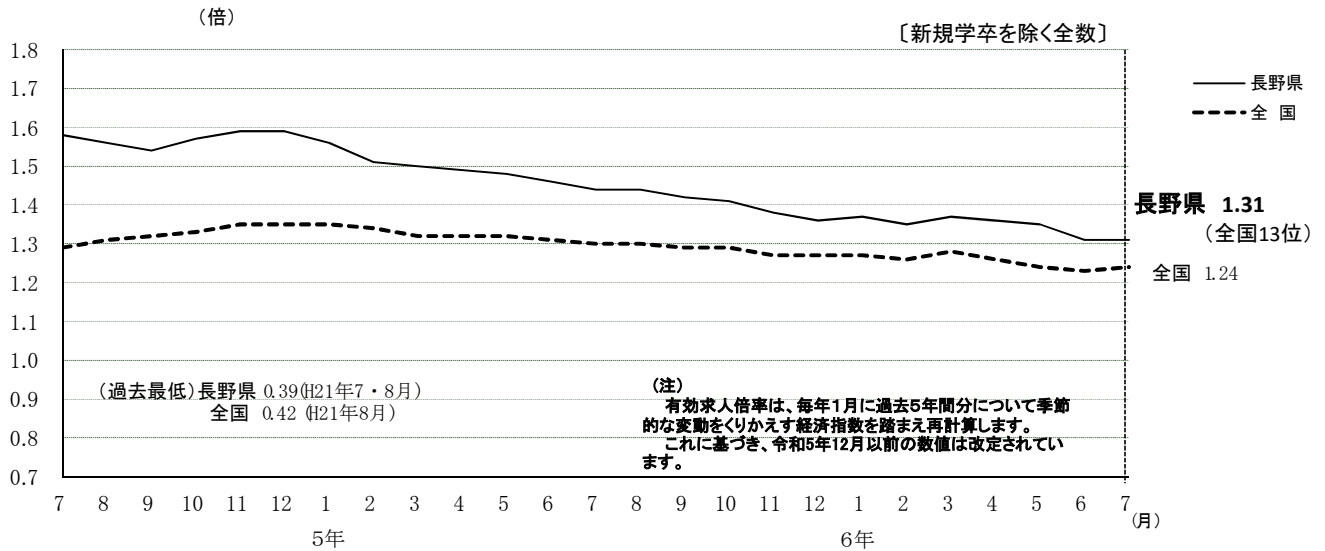
〔令和6年7月分〕

## 1 求人・求職の状況

### ① 有効求人倍率(季節調整値)の推移

令和6年7月の有効求人倍率(季節調整値)は1.31倍で前月と同数値だった。

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
最近年	1.44	1.44	1.42	1.41	1.38	1.36	1.37	1.35	1.37	1.36	1.35	1.31	1.31
前年	1.58	1.56	1.54	1.57	1.59	1.59	1.56	1.51	1.50	1.49	1.48	1.46	1.44



### ※ 月間有効求人・求職(季節調整値)の推移

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
月間有効 求人数	46,452	46,294	45,855	45,418	44,814	44,461	45,137	45,172	44,634	43,968	44,365	43,884	43,176
月間有効 求職者数	32,215	32,141	32,199	32,302	32,516	32,670	32,951	33,348	32,685	32,363	32,876	33,408	32,876

### ② 地域別有効求人倍率(実数値:以下同じ)

7月の有効求人倍率を地域別に見ると、全ブロックで前年同月を下回った。また、安定所別でも全所で前年同月を下回った。

[新規学卒を除く全数]

地域別 (前年同月比 ポイント) 《前月》	北信 1.26 (▲0.11) 《1.22》				東信 1.30 (▲0.10) 《1.25》		中信 1.32 (▲0.16) 《1.26》			南信 1.27 (▲0.14) 《1.24》		
	長野	篠ノ井	飯山	須坂	上田	佐久	松本	木曾福島	大町	飯田	伊那	諏訪
全数	1.31	1.18	1.21	1.22	1.30	1.29	1.32	1.29	1.34	1.34	1.18	1.30
《前月》	《1.27》	《1.20》	《1.09》	《1.17》	《1.22》	《1.29》	《1.25》	《1.33》	《1.28》	《1.33》	《1.13》	《1.25》
(前年同月比 ポイント)	(▲0.12)	(▲0.01)	(▲0.34)	(▲0.13)	(▲0.04)	(▲0.17)	(▲0.16)	(▲0.36)	(▲0.02)	(▲0.24)	(▲0.11)	(▲0.09)
うち常用 《前月》	1.19 《1.15》	1.14 《1.16》	1.15 《1.01》	1.12 《1.06》	1.21 《1.14》	1.25 《1.25》	1.19 《1.13》	1.19 《1.20》	1.28 《1.23》	1.28 《1.26》	1.03 《1.00》	1.21 《1.17》
(前年同月比 ポイント)	(▲0.09)	(▲0.02)	(▲0.28)	(▲0.14)	(▲0.05)	(▲0.17)	(▲0.08)	(▲0.36)	(0.04)	(▲0.23)	(▲0.11)	(▲0.09)

\*「うち常用」とはパート常用を含み、臨時・季節を除く。

③ 新規求人数の推移

7月の新規求人数は、前年同月比で4.2%減少した。うち常用は2.6%減少し、うちパートは6.1%減少した。

年月	5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全 数 (前年同月比)	16,255 (▲6.2)	15,539 (▲8.3)	15,748 (▲5.9)	16,918 (▲11.2)	15,079 (▲14.4)	14,931 (▲7.4)	18,082 (▲5.4)	16,511 (▲10.6)	14,966 (▲11.7)	15,448 (▲6.2)	15,228 (▲2.0)	13,626 (▲11.5)	15,572 (▲4.2)
うち常用 (前年同月比)	9,343 (▲7.5)	9,166 (▲4.1)	8,492 (▲7.5)	9,397 (▲10.6)	8,857 (▲10.6)	8,159 (▲8.7)	9,496 (▲5.1)	9,182 (▲8.0)	8,254 (▲10.4)	9,025 (▲4.3)	8,494 (▲3.2)	7,834 (▲8.2)	9,098 (▲2.6)
うちパート (前年同月比)	6,039 (▲2.1)	5,364 (▲13.3)	6,038 (▲6.6)	6,205 (▲10.5)	5,374 (▲18.5)	5,721 (▲6.6)	7,416 (▲3.6)	6,564 (▲11.6)	5,964 (▲13.4)	5,673 (▲7.7)	6,042 (3.7)	5,115 (▲16.1)	5,673 (▲6.1)
常用のうち正社員 (前年同月比)	7,514 (▲3.2)	7,400 (0.4)	7,008 (▲4.5)	7,651 (▲6.4)	7,123 (▲4.9)	6,671 (▲6.3)	7,619 (▲1.8)	7,163 (▲3.9)	6,765 (▲5.9)	7,234 (▲1.5)	6,816 (▲0.6)	6,437 (▲6.0)	7,376 (▲1.8)
全数に占める 正社員の割合	46.2	47.6	44.5	45.2	47.2	44.7	42.1	43.4	45.2	46.8	44.8	47.2	47.4
正社員有効 求人倍率	1.13	1.16	1.17	1.16	1.18	1.19	1.16	1.10	1.08	1.05	1.04	1.05	1.08

※全数には臨時・季節を含み、うち常用はパートを含まない。

④ 産業別新規求人状況

7月の産業別(大分類)の新規求人数は、前年同月比でD「建設業」、G「情報通信業」、K「不動産業、物品賃貸業」、N「生活関連サービス業、娯楽業」、P「医療、福祉」で前年同月を上回り、それ以外の産業は前年同月を下回った。

産 業 別	新規求人数 (人)		前月比 (%)		産 業 別	新規求人数 (人)		前月比 (%)	
	うちパート					うちパート			
全 数	15,572	14.3	▲4.2		G 情報通信業	185	▲19.2	12.1	
	5,673	10.9	▲6.1			27	▲34.1	▲41.3	
D 建設業	1,489	8.4	1.7		H 運輸業、郵便業	711	34.2	(▲4.6)	
	118	3.5	66.2			187	54.5	(13.3)	
E 製造業	2,361	4.7	▲7.6		I 卸売業、小売業	1,794	▲0.5	(▲9.9)	
	527	▲4.0	▲14.7			947	4.2	(▲9.7)	
09 食料品製造業	498	▲9.1	▲1.0		J 金融業、保険業	63	6.8	▲7.4	
10 飲料・たばこ・飼料製造業	257	8.0	▲13.8			6	▲66.7	▲40.0	
14 パルプ・紙・紙加工品製造業	32	10.3	3.2		K 不動産業、物品賃貸業	247	11.3	5.1	
	5	25.0	▲37.5			133	62.2	15.7	
15 印刷・同関連業	44	41.9	22.2		M 宿泊業、飲食サービス業	960	0.9	▲15.3	
	1	▲85.7	▲88.9			555	0.9	▲25.3	
18 プラスチック製品製造業(別掲を除く)	121	24.7	▲1.6		76 飲食店	364	▲2.2	▲18.8	
	24	71.4	71.4			228	0.0	▲28.3	
24 金属製品製造業	183	▲12.4	▲27.1		N 生活関連サービス業、娯楽業	743	64.4	4.1	
	33	▲8.3	▲28.3			314	38.9	▲11.5	
25 はん用機械器具製造業	166	30.7	10.7		78 洗濯・理容・美容・浴場業	360	53.8	▲0.6	
	32	113.3	77.8			159	33.6	▲1.2	
26 生産用機械器具製造業	238	30.8	▲5.2		O 教育、学習支援業	192	3.8	▲25.3	
	15	▲25.0	▲6.3			105	0.0	▲37.1	
27 業務用機械器具製造業	104	▲23.0	▲25.2		P 医療、福祉	2,967	19.7	(1.0)	
	22	29.4	▲38.9			1,376	13.8	(2.3)	
28 電子部品・デバイス・電子回路製造業	171	▲35.5	▲1.7		85 社会保険・社会福祉・介護事業	2,024	28.5	(0.8)	
	30	▲50.8	▲30.2			1,013	17.8	(1.1)	
29 電気機械器具製造業	401	100.5	2.0		R サービス業(他に分類されないもの)	2,881	33.1	(▲4.3)	
	42	▲10.6	▲8.7			932	29.1	(1.3)	
30 情報通信機械器具製造業	46	▲2.1	▲27.0		91 職業紹介・労働者派遣業	1,200	39.7	▲0.8	
	10	▲9.1	▲50.0			187	159.7	48.4	
31 輸送用機械器具製造業	128	0.8	▲19.5		その他の産業	979	5.7	(0.0)	
	21	▲27.6	10.5			446	▲4.9	(2.5)	

注) 令和6年4月以降については令和5年7月改定の「日本標準産業分類」に基づく区分、令和6年3月以前については平成25年10月改定の「日本標準産業分類」に基づく区分により表章したもの。令和6年4月以降の対前同月比については、産業分類改定による影響のある産業について()で示している。「その他の産業」には、A農業、林業、B漁業、C鉱業、採石業、砂利採取業、F電気・ガス・熱供給・水道業、L学術研究、専門・技術サービス業、Q複合サービス事業、S公務(他に分類されるものを除く)、T分類不能の産業を含む。

### ⑤ 新規求職者の推移

7月の新規求職者数は前年同月比で4.9%増加した。うち常用は1.5%増加し、うちパートは10.8%増加した。

年月	5年												6年	
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
全数	6,003	6,289	6,447	6,978	6,216	6,173	8,030	7,674	7,189	9,390	7,540	6,102	6,295	
(前年同月比)	(2.7)	(0.4)	(▲0.0)	(7.4)	(4.1)	(5.8)	(5.6)	(▲2.3)	(▲7.4)	(3.7)	(3.2)	(▲6.9)	(4.9)	
うち常用	3,793	3,971	3,946	4,267	3,765	3,389	4,754	4,622	4,292	5,017	4,354	3,653	3,848	
(前年同月比)	(1.5)	(▲0.7)	(▲0.3)	(8.2)	(5.7)	(5.4)	(4.1)	(▲2.4)	(▲9.2)	(3.7)	(2.1)	(▲8.3)	(1.5)	
うちパート	2,192	2,300	2,490	2,686	2,240	2,089	3,064	3,019	2,850	4,273	3,159	2,427	2,429	
(前年同月比)	(4.5)	(1.9)	(0.5)	(5.9)	(1.5)	(10.1)	(9.9)	(▲1.9)	(▲4.3)	(3.3)	(5.2)	(▲4.5)	(10.8)	

※ 全数には、臨時・季節を含み、うち常用にはパートは含まない。

### ⑥ 新規常用求職者の態様別状況

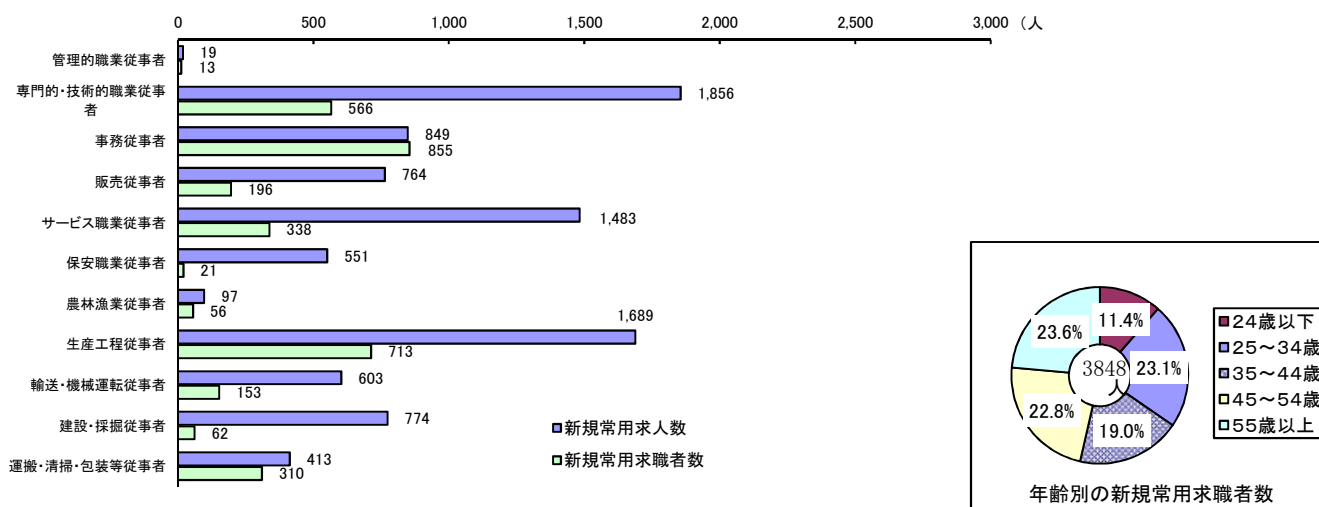
7月の新規常用求職者の状況を態様別にみると、前年同月比で在職者は1.3%の減少、離職者は3.4%の増加、無業者は3.9%の増加となった。離職者のうち、事業主都合は0.5%の減少となった。

年月	5年												6年	
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
常用求職者	3,793	3,971	3,946	4,267	3,765	3,389	4,754	4,622	4,292	5,017	4,354	3,653	3,848	
(前年同月比)	(1.5)	(▲0.7)	(▲0.3)	(8.2)	(5.7)	(5.4)	(4.1)	(▲2.4)	(▲9.2)	(3.7)	(2.1)	(▲8.3)	(1.5)	
在職者	1,600	1,708	1,683	1,786	1,623	1,518	2,071	2,288	1,881	1,578	1,616	1,563	1,580	
(前年同月比)	(▲1.8)	(1.7)	(0.1)	(13.5)	(6.6)	(11.2)	(2.3)	(▲2.0)	(▲6.5)	(▲0.8)	(▲2.8)	(▲8.1)	(▲1.3)	
離職者	1,986	2,051	2,049	2,254	1,928	1,704	2,438	2,116	2,099	3,107	2,437	1,861	2,053	
(前年同月比)	(4.7)	(▲1.6)	(0.8)	(5.8)	(3.8)	(1.2)	(4.5)	(▲1.4)	(▲11.9)	(4.3)	(4.1)	(▲8.7)	(3.4)	
定年	64	69	65	75	61	61	85	66	60	208	98	60	77	
(前年同月比)	(▲9.9)	(15.0)	(1.6)	(8.7)	(29.8)	(▲7.6)	(37.1)	(▲5.7)	(▲43.4)	(2.0)	(27.3)	(▲10.4)	(20.3)	
事業主都合	397	349	366	485	420	416	530	437	403	737	515	398	395	
(前年同月比)	(5.3)	(▲7.7)	(1.7)	(35.5)	(18.6)	(5.3)	(23.0)	(3.3)	(▲11.6)	(8.5)	(11.0)	(▲8.1)	(▲0.5)	
自己都合	1,478	1,583	1,569	1,652	1,401	1,195	1,766	1,552	1,574	2,106	1,762	1,350	1,539	
(前年同月比)	(5.6)	(▲0.6)	(0.6)	(0.1)	(▲0.8)	(0.8)	(▲0.4)	(▲2.6)	(▲10.5)	(2.7)	(0.6)	(▲9.3)	(4.1)	
無業者	207	212	214	227	214	167	245	218	312	332	301	229	215	
(前年同月比)	(▲1.4)	(▲9.4)	(▲12.3)	(▲4.6)	(18.9)	(▲0.6)	(17.2)	(▲14.5)	(▲5.7)	(23.4)	(15.3)	(▲6.5)	(3.9)	

※ 離職者は、「前職雇用者」と「前職自営、その他」(表中では省略)に分けられる。  
「前職雇用者」は、離職理由別に「定年」「事業主都合」「自己都合」「不明」(表中では省略)に区分される。  
このため内訳の計と離職者数欄の数値は一致しない。  
※ 無業者とは、家事、育児等従事者及び離職後1年を超えて求職活動をしていない者をいう。

⑦ 職業別の新規常用求人・求職、年齢別の新規常用求職の状況

7月の新規求人・求職者数を職業別に対比してみると、「事務従事者」で求職者数が求人数を上回ったが、それ以外の職業では、求人数が求職者数を上回った。



※パートタイムを除く常用

平成21年12月改定の「日本標準職業分類」に基づく区分

⑧ 月間有効求人・求職(実数値)の推移

7月の月間有効求人数は前年同月比で5.9%減少し、月間有効求職者数は3.4%増加した。

年月	5年7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
月間有効求人数	44,783	45,233	45,722	46,048	45,690	44,887	45,972	46,685	46,071	43,673	43,225	42,159	42,131
(前年同月比)	(▲8.8)	(▲8.8)	(▲7.1)	(▲9.1)	(▲11.1)	(▲10.5)	(▲8.9)	(▲9.0)	(▲9.4)	(▲8.8)	(▲6.3)	(▲6.6)	(▲5.9)
月間有効求職者数	31,738	31,321	31,298	31,723	31,295	30,824	32,045	33,722	33,920	34,722	34,980	34,026	32,804
(前年同月比)	(▲0.6)	(▲0.9)	(▲0.4)	(1.6)	(2.5)	(4.4)	(4.2)	(2.8)	(0.1)	(0.7)	(2.5)	(2.6)	(3.4)

※ パートタイム、臨時・季節を含む全数

2 就職の状況

7月の就職件数は、前年同月比で0.8%増加した。うち常用は5.1%増加し、うちパートは2.8%減少した。

年月	5年7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全数	2,118	1,962	2,297	2,243	2,050	2,018	1,740	2,632	3,519	2,493	2,373	2,263	2,135
(前年同月比)	(▲5.1)	(▲5.9)	(▲1.8)	(4.7)	(▲3.1)	(7.9)	(▲2.4)	(6.7)	(▲5.3)	(▲1.0)	(▲3.3)	(▲4.8)	(0.8)
うち常用	1,036	1,060	1,182	1,145	1,064	978	921	1,278	1,586	1,145	1,128	1,039	1,089
(前年同月比)	(▲11.8)	(▲8.0)	(▲4.8)	(2.9)	(▲3.5)	(3.2)	(▲1.1)	(4.1)	(▲8.3)	(▲5.4)	(▲3.3)	(▲12.9)	(5.1)
うちパート	1,025	842	1,061	1,049	935	988	774	1,292	1,856	1,293	1,202	1,166	996
(前年同月比)	(2.8)	(▲2.4)	(1.7)	(10.0)	(▲0.6)	(15.4)	(▲2.3)	(10.7)	(▲2.4)	(4.1)	(▲2.9)	(2.5)	(▲2.8)

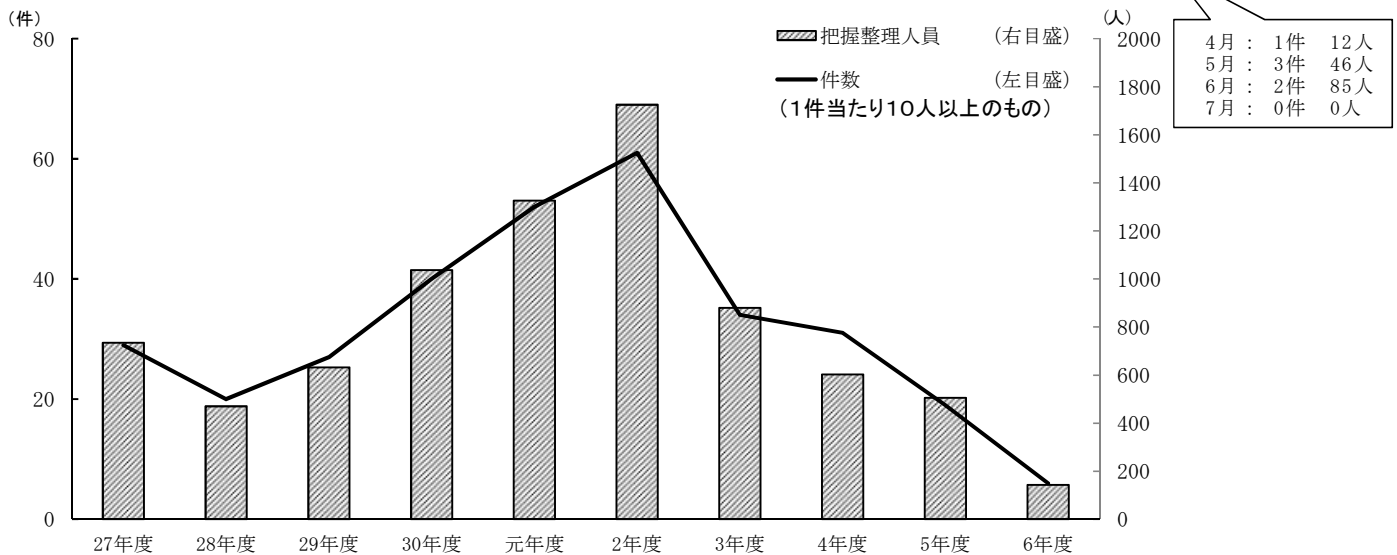
※ 全数には、臨時・季節を含み、うち常用にはパートは含まない。

### 3 人員整理の把握状況

7月中に把握した1件あたり10人以上の人員整理は、0件であった。  
事業主都合による離職は345人で、前年同月を8.8%上回った。

#### ①10人以上の人員整理把握状況の年度別推移

年度別	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	前年同期
件数	29	20	27	40	52	61	34	31	19	6	7
整理人数	734	470	632	1,037	1,326	1,725	880	603	505	143	178



#### ② 事業主都合による離職の推移 (雇用保険の被保険者資格喪失データ)

年月	5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	6年 2月	3月	4月	5月	6月	7月
人数	317	267	265	343	244	281	390	424	332	792	345	273	345
(前年同月比)	(3.6)	(9.4)	(39.5)	(1.5)	(▲14.7)	(61.5)	(7.7)	(62.5)	(▲14.4)	(6.9)	(21.9)	(▲20.6)	(8.8)

※ 特例被保険者(季節)を除く

#### (参考) 雇用保険の適用事業所・被保険者・失業等給付受給者の状況

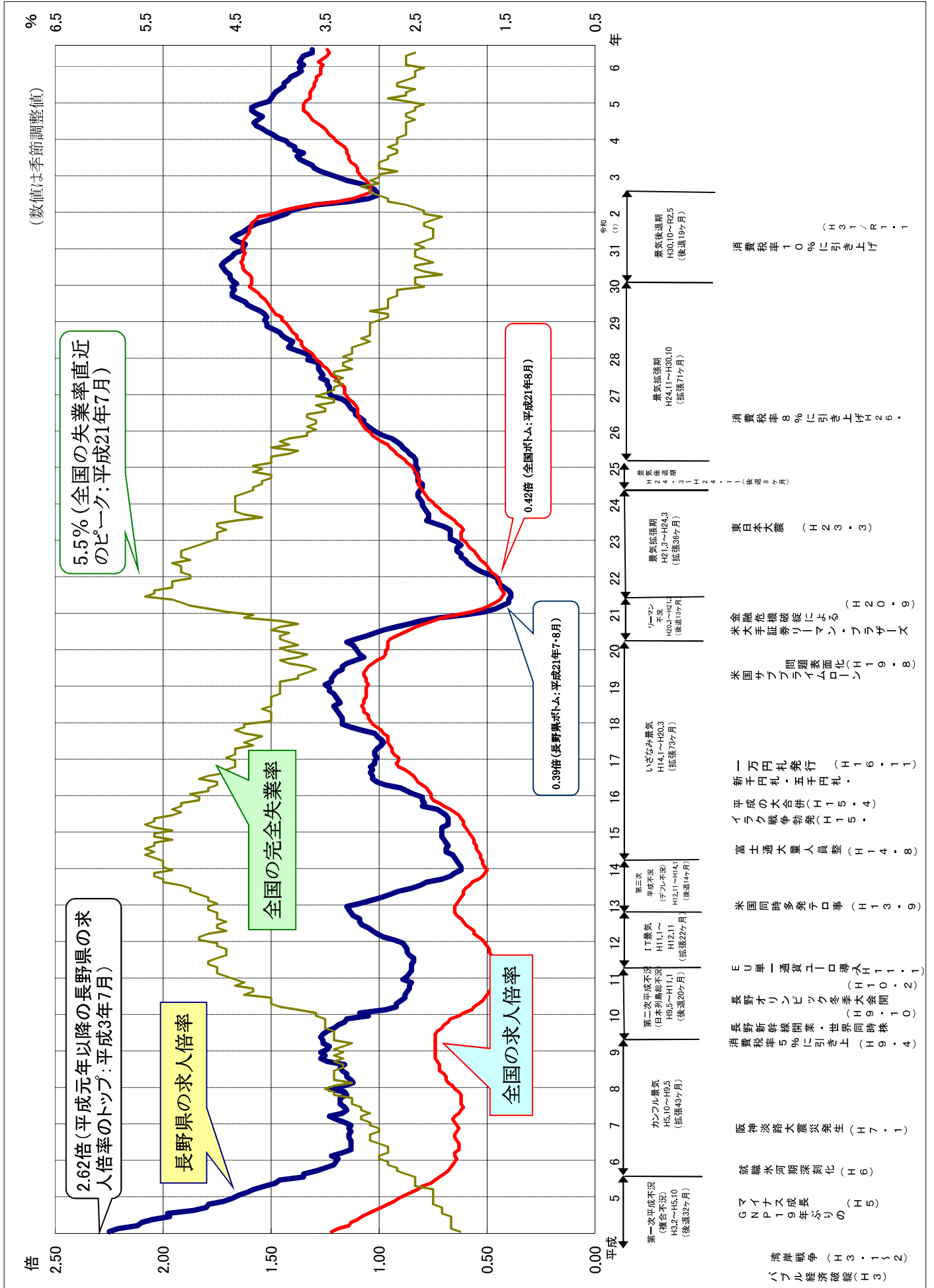
適用事業所数は、前年同月を0.2%下回った。被保険者数は645,728人で、前年同月を0.1%上回った。失業等給付(基本手当)の受給者は8,010人で、前年同月を7.3%上回った。

年月	5年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	6年 2月	3月	4月	5月	6月	7月
事業所 月末現在数	38,179	38,213	37,903	37,967	38,005	38,032	38,075	38,115	38,129	38,093	38,069	38,071	38,112
(前年同月比)	(0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(▲0.1)	(▲0.1)	(▲0.1)	(0.0)	(0.0)	(▲0.1)	(▲0.2)	(▲0.2)	(▲0.2)
資格取得数	7,370	6,407	6,341	7,200	6,642	5,651	6,078	5,753	6,032	13,578	17,782	8,482	7,661
資格喪失数	7,244	6,630	6,897	8,714	6,853	6,774	8,349	6,339	7,052	18,174	7,759	6,407	7,403
被保険者 月末現在数	645,372	645,494	645,145	643,631	643,374	642,185	639,896	639,275	638,181	633,484	643,501	645,530	645,728
(前年同月比)	(0.1)	(0.2)	(0.2)	(0.1)	(0.2)	(0.2)	(0.1)	(0.2)	(0.2)	(▲0.4)	(▲0.2)	(0.0)	(0.1)
基本手当 受給者実人員数	7,467	7,531	7,186	7,070	6,714	6,442	6,504	6,405	6,212	6,522	7,132	7,357	8,010
(前年同月比)	(4.3)	(2.0)	(2.3)	(8.7)	(8.1)	(6.3)	(6.3)	(7.2)	(1.3)	(11.0)	(1.8)	(1.2)	(7.3)

次回発表日 令和6年10月1日(火)

# 有効求人倍率・完全失業率の推移(令和6年7月分まで)

(長野労働局職業安定部)

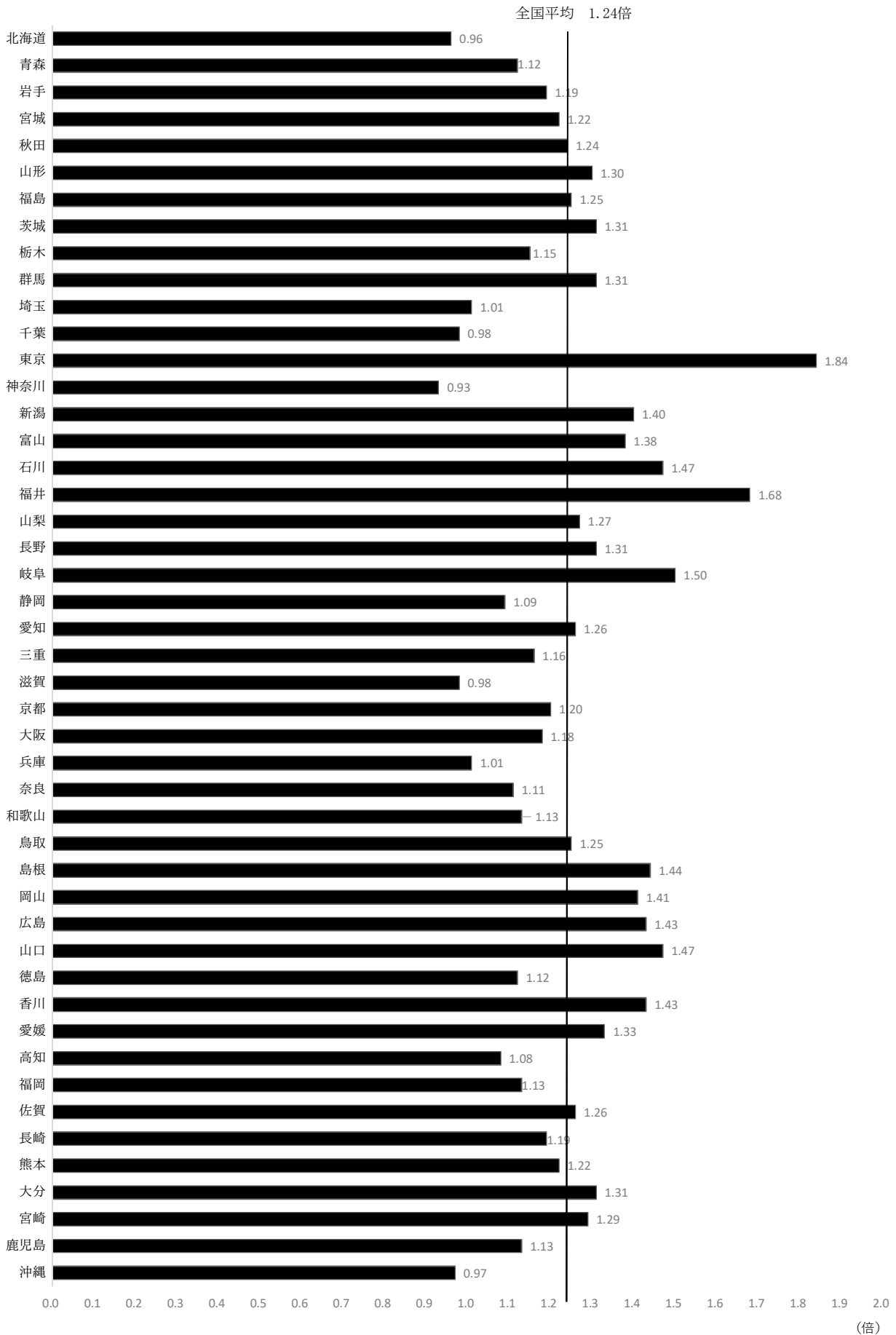






都道府県別有効求人倍率：季節調整値

令和6年7月 全国平均1.24 [原数値1.20倍]



(注) 季節調整値計算(季節調整値替え)は、毎年過去1年分のデータが揃う年初に行われ、季節調整済系列が改定される。

(資料出所) 厚生労働省「職業安定業務統計」

令和6年度 ハローワークのマッチング機能の総合評価における主要指標の進捗状況

長野労働局

1.就職件数(一般)

ハローワーク	R6/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6/1月	2月	3月	累計	目標件数	進捗率(%)
長野	367	326	315	279									1,287	3,839	33.5
松本	499	437	408	418									1,762	5,393	32.7
上田	248	232	239	218									937	2,806	33.4
飯田	217	206	206	175									804	2,455	32.7
伊那	208	216	191	194									809	2,503	32.3
篠ノ井	224	232	189	196									841	2,357	35.7
飯山	94	105	111	82									392	1,132	34.6
木曾福島	22	18	21	21									82	267	30.7
佐久	223	225	197	183									828	2,676	30.9
大町	54	62	75	52									243	756	32.1
須坂	101	86	89	92									368	1,168	31.5
諏訪	229	224	219	220									892	2,791	32.0
労働局全体	2,486	2,369	2,260	2,130									9,245	28,143	32.9

2.充足件数(一般)

ハローワーク	R6/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6/1月	2月	3月	累計	目標件数	進捗率(%)
長野	432	382	373	328									1,515	4,454	34.0
松本	471	408	417	405									1,701	5,222	32.6
上田	242	225	217	211									895	2,753	32.5
飯田	206	197	196	165									764	2,305	33.1
伊那	197	203	166	185									751	2,344	32.0
篠ノ井	220	250	184	209									863	2,471	34.9
飯山	78	87	95	72									332	979	33.9
木曾福島	21	24	23	18									86	246	35.0
佐久	220	211	192	189									812	2,512	32.3
大町	48	49	58	49									204	629	32.4
須坂	84	79	89	82									334	1,013	33.0
諏訪	232	231	192	203									858	2,742	31.3
労働局全体	2,451	2,346	2,202	2,116									9,115	27,670	32.9

3.雇用保険受給者の早期再就職割合

ハローワーク	R6/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6/1月	2月	3月	累計	目標割合	目標差(%)
長野	18.4	83	106										26.8%	34.2%	▲ 0.07
松本	23.4	145	147										28.6%	34.2%	▲ 0.06
上田	18.5	63	84										26.2%	34.2%	▲ 0.08
飯田	20.3	98	58										36.0%	34.2%	0.02
伊那	20.7	71	76										34.8%	34.2%	0.01
篠ノ井	16.4	61	60										26.8%	34.2%	▲ 0.07
飯山	26.0	25	31										30.6%	34.2%	▲ 0.04
木曾福島	0.0	3	12										21.4%	34.2%	▲ 0.13
佐久	17.9	94	66										29.7%	34.2%	▲ 0.05
大町	16.0	19	21										27.8%	34.2%	▲ 0.06
須坂	21.2	25	21										29.3%	34.2%	▲ 0.05
諏訪	20.0	79	47										28.3%	34.2%	▲ 0.06
労働局全体	19.8	766	729										29.1%	34.2%	▲ 0.05